

「災害に備える知恵」 満載の情報紙

回覧

No. 100
2018年8月

自主防災新聞



自主防災新聞100号記念

~これからも防災情報をお届けします!~

1人ひとりがみな主役

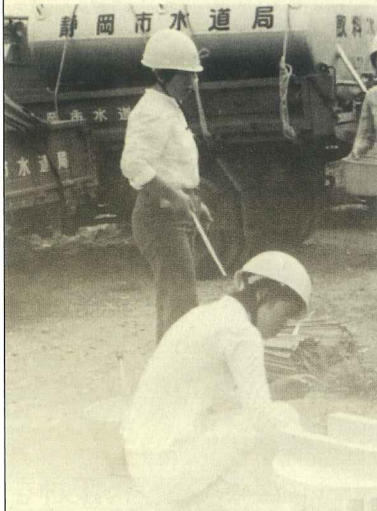
自主防災

〈第1号〉

昭和63年(1988年)9月1日

編集・発行 静岡県自主防災組織活動推進委員会
発行所 〒420 静岡市追手町9番6号
静岡県地震対策内推進委員会事務局
TEL 0542・21・2456

やはり来る東海地震



静岡県知事 川勝平太

しかし、災害への備えは行政の取組だけでできるものではありません。私達一人ひとりが自分のこととしてとらえ、常日頃から災害への備えを進めておく必要があります。この自主防災新聞を読んで、地域防災の輪を広げ、安全で安心な地域づくりを進めてまいりましょう。

本県では、東日本大震災から得た貴重な教訓を踏まえ、平成25年に「静岡県第4次地震被害想定」を公表するとともに、想定される南海トラフ地震の犠牲者を10年間で8割減少させることを目標とした「地震・津波対策アクションプログラム2013」を策定し、様々な防災対策に取り組んでおります。

平成23年の東日本大震災、平成28年の熊本地震では多くの方が犠牲になりました。「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉がありますが、その言葉に反して近年では毎年のように全国各地で災害が発生しており、6月18日にも大阪北部で大きな地震が起きたところです。

昭和63年の創刊以来、30年にわたり発行してきた自主防災新聞は、本号で記念すべき100号を迎えました。これもひとえに県民の皆様への御理解・御協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

振り返ろう! 自主防災新聞の軌跡



紙面に見る 災害の教訓を今、新たに



1号 (S63) やはり来る東海地震 いざという時あわてないように

東海地震説から12年、県民の防災意識の低下や危機感の薄さが懸念される中、「自主防災新聞」を通して、自助・共助の意識の向上を目的に創刊しました。

6号 (H1) 伊豆東方沖の地震が教えてくれたもの

平成元年6月30日から活発な群発地震活動が始まり、7月9日に震度5以上の地震が発生し、家具の転倒により、ケガをした方も出ました。7月13日には、海底での火山噴火が発生しました。



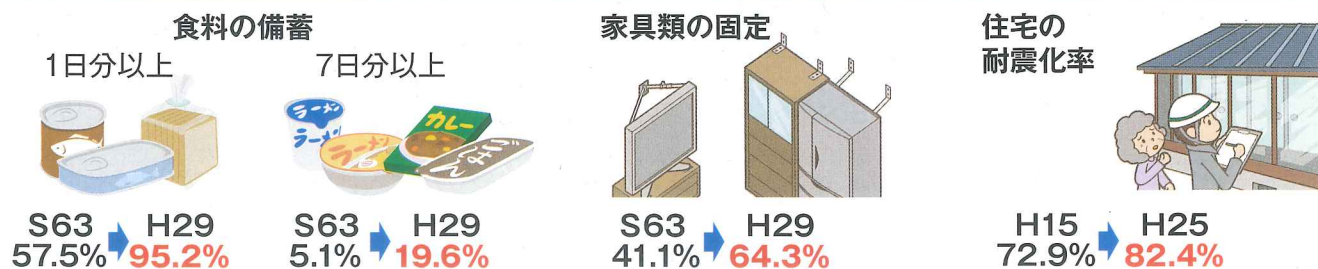
66号 「災害時要援護者」※への支援の取組

各市町では、災害時要援護者台帳の整備など、災害時要援護者への支援の取組を進めています。災害時要援護者の方がどのような支援を必要としているのか、日頃からのコミュニケーションを通じて、地域での把握が重要であることを伝えました。

※現在の呼称は「避難行動要支援者」

家庭内対策100%を目指して…

「自主防災新聞」の発行、防災訓練を重ね、右記のとおり、私たちの備えは進んでいます。あなた自身とご家族を守るため、家庭内対策100%を目指していきましょう!



※平成29年度「南海トラフ(東海地震)についての県民意識調査」(平成30年1月)より

※静岡県耐震改修促進計画(平成28年4月)より

74号 8月11日早朝に発生した地震

平成21年8月11日に発生した駿河湾沖地震では、最大震度6弱を観測し、死者1名、負傷者311名もの被害を受けました。負傷者のうち、約43%が落下物や転倒物等によるものでした。自宅を命を落とさない、ケガをしないためにはどうしたらよいか…。県では、家庭内DIGを通して、家具の固定、置く場所の工夫を促し、地震がきてもわが家で暮らす方法について、家族で話し合うことの重要性を伝えました。

77号 小山町を襲った台風9号

平成22年9月8日、台風9号により、全壊6棟、半壊25棟、床上床下浸水108棟の被害を受けた小山町でしたが、死者及び負傷者はともにゼロでした。早めの判断と避難行動、平時から防災マップを作成し、どこでどのような被害が発生する危険があるのか、とるべき対策を考えておく等、日頃の備えが災害時に生きることを伝えました。

79号 東日本大震災から学ぶこと

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、国内史上最大のM9を観測し、19,000人以上の方が犠牲になりました。「東日本大震災から学ぶこと」をテーマに津波に対する心得として、想定にとられないこと、地域の危険性を知ること等について伝えました。また、東日本大震災の教訓を生かし、県で策定した第4次地震被害想定についても伝えました。

94号 「人ごと」じゃありません!!…熊本地震から学ぶこと

平成28年4月14・16日に発生した熊本地震では、20万棟以上もの建物被害を受け、多くの方が犠牲になりました。また多くの方が、避難生活を余儀なくされ、避難者最大数は18万人を超えました。このため、住宅の耐震化、家具固定が重要であることを改めて伝えました。その後、県では平成30年に「避難生活の手引き」を作成し、備蓄等の家庭内対策を充実させ、在宅生活継続に努めることを伝えました。

過去の自主防災新聞が閲覧できます!

(静岡県地震防災センターへリンクします)





静岡県総合防災訓練に参加しましょう!

「防災週間(8月30日～9月5日)」には、各市町が主催する総合防災訓練が県内各地で行われます。ぜひ、お住まいの地域の防災訓練に参加しましょう!また、9月2日(日)には、以下のテーマで静岡市と富士山静岡空港を会場に、実動訓練を行います。

《平成30年度静岡市・静岡県総合防災訓練テーマ》

災害に強く安心・安全に暮らせるまちにしよう!
～自助、共助、公助による災害対応力の強化～



昨年度の総合防災訓練の様子(静浦小中一貫学校)

地域防災活動を盛り上げていきましょう!!

私たち「地域防災活動推進委員会」は、昭和63年に発足し、地域防災活動の活性化のため、様々な取り組みを行ってきました。今年度の取り組みのテーマは以下の2つです!

- ①「地区防災計画」の策定に対する提言
- ②自主防災組織実態調査の結果分析と施策の検討

詳しくは [静岡県 地域防災活動推進委員会 活動報告](#)

[検索](#)



今年度の地域防災活動推進委員

平成30年度地域防災活動推進委員(◎:委員長、○副委員長)

- | | | |
|-------------|---------------|---------------|
| ◎横山 功 (焼津市) | ○笹原 和之 (富士宮市) | 嶋津 安則 (下田市) |
| 小林 隆徳 (伊東市) | 遠藤 修司 (三島市) | 瀧 義弘 (静岡市) |
| 中村 隆哉 (掛川市) | 米山 英二 (浜松市) | 加藤 泰樹 (長泉町) |
| 神谷 尚世 (湖西市) | 松田 寛子 (藤枝市) | 柴田 和利 (湖西市) |
| 伊藤 順治 (菊川市) | 大塚 真知子 (静岡市) | パルマ・パメラ (静岡市) |

日頃、「自主防災新聞」をお読みいただきありがとうございます。今号で自主防災新聞は100号を迎えました。県民の皆様には、ぜひ自主防災新聞を読んで、地域防災について考えていただくとともに、家庭内対策の充実を図っていただきたいと思います。また、地域で行われる防災訓練には、積極的に参加して、顔の見える関係を築き、災害時には地域一丸となって、乗り越えていきましょう!

委員長 横山 功



告知 あなたのブロック塀は安全ですか?

県内の多くの市町では、ブロック塀の撤去等の費用の一部を補助しています。各市町の建築・防災担当課へお問合せください。

詳しくは [静岡県 ブロック塀の点検について](#)

[検索](#)



駿河湾を震源とする地震によるブロック塀の倒壊

防災クイズ

当選者の発表は、景品の発送をもって代えさせていただきます。

●応募方法

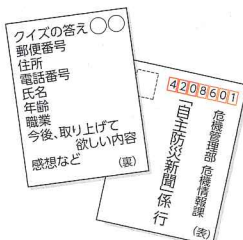
クイズの答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、職業、取り上げて欲しい内容、感想を記入したハガキ、web版入力フォームにてご応募ください!

問題 ①、②の○の中にも共通して入る文字をお答えください。

- ① ○○の命は自ら守る
- ② ○○の地域は皆で守る

前号の答えは「トラフ」でした。

15枚
セット



ハガキ 記入例



web版
入力フォーム

●応募締切 平成30年9月14日(金)
※ハガキの場合は当日消印有効

企画・編集 静岡県地域防災活動推進委員会
発行 平成30年8月1日
静岡県危機管理部
危機情報課
TEL.054-221-3694
制作・印刷 星光社印刷株式会社

※本紙は再生紙を使用しています

今回は

抽選で10名様に景品を送ります。

大人気! 簡単トイレセット
(A4判タイプ化粧箱入り)